

令和4年9月1日

市政記者各位

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

「災害時に機能するドローン空域構想！」

ドローンによる情報収集の可能性を検証

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

この度、実証実験フルサポート事業として【ドローン空域構想「SKY-D」】プロジェクトの実証実験を採択しましたのでお知らせいたします。

記

1 事業者

大和ライフネクスト株式会社
大和ハウスパーキング株式会社
大和物流株式会社
トルビズオン株式会社



2 実証実験について

(1) 検証内容

現在、福岡市内で火災のような事故や災害が発生した場合、状況確認の一つの手段として福岡タワーに設置されたカメラの映像を活用していますが、将来的にドローンが物流などの用途で都市部を飛行するようになった場合に、ドローンが撮影する映像で、福岡タワーのカメラ映像を補完することが可能か検証します。

(2) 「ドローン空域構想SKY-D」プロジェクトの詳細

別紙「事業者リリース」をご参照ください。

【問い合わせ先】

○実証プロジェクトに関すること

大和ライフネクスト株式会社
ファシリティコンサルティング事業本部
担当：久川
電話：03-5549-7103

○実証実験フルサポート事業

に関すること
総務企画局企画調整部
担当：木崎、大藪
電話：092-711-4879（内線 1219）





Daiwa LifeNext®

大和ハウスグループ

2022年9月1日

報道関係各位

大和ライフネクスト株式会社

「ドローン空域構想 SKY-D」が
福岡市実証実験フルサポート事業に採択
～ドローンを使用した災害支援・空域開発による新たな価値創造～



大和ハウスグループの大和ライフネクスト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹林 桂太郎）は、同じく大和ハウスグループの大和ハウスパーキング株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：中前 隆志）、大和物流株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：木下 健治）、そして上空シェアリングサービスを手掛ける株式会社トルビズオン（本社：福岡市中央区、代表取締役社長：増本 衛）とともに、ドローンが自由に飛行可能な「空の道」を創造することで災害支援や配送などを次なるフェーズへと進化させる「ドローン空域構想 SKY-D（※1）」プロジェクトを立ち上げました。そしてこのたび、同プロジェクトの実証実験が「福岡市実証実験 フルサポート事業」に採択されました。

※1 商標出願中

■ 「福岡市実証実験 フルサポート事業」とは

福岡市実証実験フルサポート事業とは、福岡市と福岡地域戦略推進協議会が AI・IoT などの先端技術を活用した社会課題の解決や生活の質の向上などにつながる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験を全面的にサポートするものです。

「福岡市実証実験 フルサポート事業」の詳細：

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsup/fullsupport.html>

■ 「福岡市実証実験 フルサポート事業」採択までの道のり

国土交通省が発表する「令和4年度版 国土交通白書」によれば、地球温暖化が原因と考えられる異常気象・気象災害は日本を含め世界各地で激甚化・頻発化しており、国民の災害リスクは今後もさらに高まっていくと予想されています。福岡市においても、今後大規模な自然災害がいつ発生してもおかしくない状況であるといえます。

全国各地の分譲マンションの管理を受託する大和ライフネクストは、暮らしに一步先の安心、「あしたのあたり前」を提供することを経営ビジョンとし、2021年には防災サービスブランド「マンボウ(manbow)」を立ち上げ、VR(バーチャルリアリティ)消防訓練やオンリーワン防災マニュアル制作サービスなど、マンションに住む人々の暮らしを防災の観点からもサポートする事業を展開しています。

「マンボウ(manbow)」の詳細: <https://www.daiwalifenext.co.jp/management/manbow.html>

また、全国で3,188カ所(福岡県では528カ所)の駐車場の管理を行う大和ハウスパーキングは、災害時の避難場所や物資供給場所としての管理駐車場の活用、さらには管理駐車場の上空に広がるスペースの安全管理とその先の収益化を含めた「管理駐車場の立体的活用」を模索している中で、ドローンを活用した取り組みを検討してまいりました。

一方、福岡市に拠点を置くトルビズオンは、「空の自由化」をミッションとし、2018年に土地所有者とドローンユーザーをつなぐ空のシェアリングサービス「sora:share(ソラシェア)」を開発。ドローンのさまざまな活用に取り組みながら、自治体と共に地域住民の理解を得た上で、ドローンを飛ばす「空の道」を築いています。

「sora:share(ソラシェア)」の詳細: <https://www.truebizon.com/>

そこで3社は、災害時におけるドローン離着陸可能エリアの拡大と、ドローンを活用した新たな災害支援活動の実証実験を福岡市へ提案し、この度「福岡市実証実験 フルサポート事業」に採択されました。今回の実証実験は災害時における現場確認を想定した垂直飛行試験となりますが、次の展開として災害支援物資のドローン配送を見据えており、災害時の緊急輸送など多様な物流ネットワークの構築に取り組む大和物流も本プロジェクトに参画いたします。

■ 「ドローン空域構想 SKY-D」とは

ドローンが自由に飛行できる「空の道」を創造することで、災害支援(Disaster Support)や配送(Delivery)などを次なるフェーズへと進化させ、人・街・暮らしの価値を向上することを目指す空域開発(Airspace Development)プロジェクトです。

第1段階: ドローンを活用した災害支援の枠組みづくり

大和ライフネクストが管理する建物や大和ハウスパーキングが管理する駐車場に対し、災害時のドローン飛行について土地・建物所有者との合意形成を行い、トルビズオンが手掛ける空のシェアリングサービス

「sora:share(ソラシェア)」上でドローンの離着陸地点として登録します。登録が完了した建物・駐車場は、災害があった際に、ドローンの拠点として幅広い活用が可能となります。(災害時以外は飛行不可として登録することで、目的外の飛行は制限されます)

■ 実証実験の概要

目的：災害時などの緊急の事態を想定し、管理建物の上空からドローンで撮影が可能な範囲や画質を検証することで、福岡タワーに設置されている自治体のカメラ映像を補完する映像が取得可能かを検証する。

方法：管理建物から離れた地点に災害時の目印を想定した旗を設置。管理建物からドローンを上空まで垂直に飛ばし、旗を撮影する。

■ 今後の展望

福岡市での取り組みをモデルケースとして各地へ展開し、ドローンに対する社会的受容性が高まった段階で災害時以外の平時においても使用可能なドローン配送網へと応用。最終段階として、各地の「空の道」を起点とした新時代の街づくりを可能にするような空域開発に貢献することを目指してまいります。

■ 会社概要

【大和ライフネクスト株式会社】

代表者：代表取締役社長 竹林桂太郎

資本金：1億3,010万円

設立：1983年3月8日

所在地：東京都港区赤坂5-1-33

事業内容：分譲マンション、賃貸マンション、ビル・商業施設、ホテルなどの建物管理サービス、寮社宅のサブリース、オフィス移転サポートやコールセンター業務などの法人向けサービス

URL：<https://www.daiwalifenext.co.jp/>

【大和ハウスパーキング株式会社】

代表者：代表取締役社長 中前 隆志

資本金：1億円

設立：1976年5月18日

所在地：東京都大田区南蒲田2-16-1 テクノポートカマタセンタービル 10F

事業内容：パーキング事業

URL：<https://www.dh-parking.co.jp/>

【大和物流株式会社】

代表者：代表取締役社長 木下健治

資本金：37億64百万円

設立：1959年8月29日

所在地：大阪市西区阿波座一丁目5番16号

事業内容：貨物自動車運送、物流センター運営などの各種物流サービス、物流施設の賃貸、運営管理などの物流不動産サービス、通販・EC物流代行サービス、国際物流サービス

URL：<https://www.daiwabutsuryu.co.jp/>

【株式会社トルビズオン】

代表者：代表取締役 増本 衛

資本金：3,250 万円

設立：2014 年 4 月

所在地：福岡県福岡市中央区天神1-1-1

事業内容：上空シェアリングサービス「sora:share(ソラシェア)」の開発・運営

URL: <https://www.truebizon.com/>

以 上

<本リリースに関するお問い合わせ先>

大和ライフネクスト株式会社(総合不動産管理業)

東京都港区赤坂 5-1-33 TEL:050-1745-2233

経営企画室 e-mail:kouhou@dln.jp